

RFMD ニュース



rfmd.com

会社連絡先：

RF Micro Devices Inc.

Brian K. Cockman, Public Relations Specialist

7628 Thorndike Road

Greensboro, NC 27409-9421, USA

電話: +1 (336) 678-8945

bcockman@rfmd.com

RFMDが3Gマルチモード端末用の補完部品を発売

多地域対応UMTSの普及に伴い、補完部品の需要が急速に拡大中

ノースカロライナ州グリーンズボロ、2007年2月12日：移動通信駆動用各種アプリケーション向けの高性能無線システム/ソリューションを設計、製造し業界をリードするRFMD社（ナスダック：RFMD）は本日、複雑化するマルチモード3G端末のフロントエンドに対応する携帯端末用補完部品を発表した。

これら補完部品ラインのうち最初に登場するのはセルラー・スイッチ、DC/DCコンバータ、および低雑音増幅器（LNA）で、現在RFMD社が業界をリードしているトランシーバやパワーアンプ中心のフロントエンド・ソリューションから幅を広げ、同社の携帯端末関連の事業機会を拡大するもの。3Gマルチモード端末用の補完部品（DC/DCコンバータ、LNA、デュプレクサ、その他PA以外の部品を含む）の対象市場は2010年ベースで10億ドルを超えると期待されている。

マルチバンド、マルチモード3G携帯端末のフロントエンドは複雑化が進み、プラットフォームの柔軟性や省エネ設計を求める顧客の要求はますます大きくなっている。RFMD社が新たに発売した、共に直線性に優れた超小型LNAと低損失スイッチは多地域対応に必要な帯域の追加を容易にするため、プラットフォームの柔軟性を高めることができる。さらに同社の革新的なDC/DCコンバータは、パワーアンプへの供給電圧を効率よく低下させ、システム全体の消費電力を低減することで3G端末の電池寿命を延ばし熱の発生を抑える。

RFMD社のセルラー製品グループ担当副社長のエリック・クレビストンによれば、「次世代携帯端末用フロントエンドに要求される複雑な仕様を理解し解決する上で、我々はベストな立場にあります。UMTSのサービス地域が拡大し、UMTSの端末が普及するにつれ、3Gマルチモード端末用の補完部品に対する需要は端末自体に対する需要よりも急速に拡大しています。3Gフロントエンド製品のラインアップと業界一の生産規模を生かして、省エネルギー、プラットフォームの柔軟性、多地域対応といった要求を解決しつつ、我々は拡大を続けるこの市場に対応していくことができます。」という。

業界調査会社のガートナー・データクエストでは、年45%を超える年複合成長率を反映した3Gマルチモード端末の市場を2010年で6億台超と予測している。3Gマルチモード用デバイスの流れにはGPRS/EDGE用のラインが1つと、UMTS用のラインが少なくとも1つあり、いずれもPA中心のフロントエンド・ソリューションとそれに付随する補完部品を必要としてい

る。3G マルチモード・デバイスが普及するにつれ、また多地域対応のバンド数が増加するにつれ、3G マルチモード端末用のフロントエンド・ソリューションや補完部品の市場拡大は端末自体の市場拡大のペースを大きく超えてくるものと予想される。

RFMD社では、3Gマルチモード端末用のこれら補完部品およびフロントエンド・ソリューションを2007年2月12～15日バルセロナで開催される3GSM ワールド कांग्रेस 2007に出展する。会場はホール8で、同社のブースは8B79。

RFMD 社について：RF Micro Devices, Inc. (NASDAQ RFMD)社は移動通信の主要アプリケーション向けに高性能な無線システム/ソリューションの設計、製造を行う会社で、この業界のグローバル・リーダー。RFMD社のパワーアンプ、送信モジュール、携帯電話用トランシーバ、およびシステム・オン・チップ (SOC) ソリューションは現在および次世代の携帯端末、基地局、無線ローカルエリアネットワーク (WLAN)、無線パーソナルエリアネットワーク (WPAN)、全地球測位システム (GPS) などの最新機能をサポートし、全世界的なモビリティの向上と接続性の拡大に寄与するもの。最先端の半導体技術による幅広い製品ラインと無線システムの豊富な経験で定評のあるRFMD社は、現在および将来の市場要求を満たす最新無線機能のサプライヤーとして、世界中の主要な移動通信機器メーカーから選ばれている。

ノースカロライナ州グリーンズボロに本社を置くRFMD社はISO 9001およびISO 14001の認証取得済みのメーカーで、世界各地にエンジニアリング、設計、販売、サービスの拠点を持つ。RFMD社はRFMD 銘柄で米ナスダックグローバルセレクト市場に上場しています。なお詳しい情報はRFMD社のホームページ、www.rfmd.comに紹介されている。

このプレス・リリースには、1995年米国私募証券訴訟改革法 (Private Securities Litigation Reform Act) がその免責条項として定める「将来的な予測」が含まれています。この「将来的な予測」には当社の計画、目的、説明、主張などについて、またはそれ以外についての記述が含まれていますが、これらの記述は歴史的な事実ではなく、通常は「可能」、「必要」、「予測」、「期待」、「予定」、「計画」、「推測」、「確信」、「推定」、「予想」、「可能性」、「継続」などの用語や類似の用語とともに使用されています。またこれらとは別の表現で「将来的な予測」が記述される場合もあります。この文書に含まれている「将来的な予測」の記述は現時点における経営陣の判断や期待を表していますが、実際の成果や出来事、業績などはこれら記述で表現されたり暗示されたりした内容とは実質的に異なる場合があります。当社は米国連邦証券取引法により要求される場合を除き、これら「将来的な予測」の記述内容を改訂したり、あるいはその記述の改訂を公表したりする意図を持っていません。RF マイクロデバイス社の事業には多くのリスクや不確実性が内在しており、その内容には四半期毎の経営成果の変動、無線関連市場の発展や成長率、ウェハ製造施設、分子線エピタキシー施設、組み立て施設、試験、テープ、リール施設など各種製造施設の稼働に関するリスク、熟練技術者や開発リーダーを採用・確保する当社の能力、生産歩留りの変動、革新的技術によりコストを削減し正味利益率を改善する能力、新製品を市場に投入する能力、顧客の在庫センターを通して行う委託販売への依存性、製品需要に即応したタイムリーな生産能力の調整を行う能力、限られた顧客への依存性、サードパーティへの依存性などが含まれています。上記以外も含むこれらリスクや不確実性については米国証券取引委員会の様式10-Kに従ったRF マイクロデバイス社の最新アニュアルレポートの中で説明されていますが、このような不確実性のため、これら記述の表現や暗示による内容と実際の成果や出来事、業績とは実質的に異なる場合があります。

RF MICRO DEVICES®およびRFMD®はRFMD, LLCの商標である。
その他の商品名、商標、登録商標はそれぞれの所有者の財産である。

###